

# 王座に関する規約

## エントリーと主将会議に関して

1. 毎年、テニスリーグの開催前に主将会議を行い、これを本大会の最終議決の場とする。
2. エントリーは主将会議の出席をもって行うものとし、無断で欠席した大学のエントリーは受け付けない。やむを得ない事情で出席できない大学は、その事情を幹事長、又は副幹事長に前もって連絡すること。その場合、出席した全大学からエントリーを認められたときのみエントリーできるものとする。また、遅刻・欠席した大学は会議における議決権を失う。
3. 主将会議での議題は下記の通りとする。
  - ① 注意事項について  
全出席校で統一して注意事項が守られるように確認するために話し合う。
  - ② 6部について  
6部については数ブロックに分けて、各ブロックの1位でトーナメントを行う。その優勝校を6部1位とし5部最下位校と入れ替え戦を行う。  
6部のブロックについては地域性を考慮し、主将会議にてそのブロック分けを行い、コートに関しては前年度の順位を考慮し決定する。  
トーナメントの位置は主将会議で決定する。
  - ③ スケジュールについて  
スケジュールについては試合期限を設け、それ以降は無効とする。（試合を拒否する大学の棄権負け）  
各部内の対戦は6月下旬を期限とし、主将会議にてそのスケジュールを決定する。  
各入れ替え戦は、7月の第4週を試合期限とする。尚、雨などによるスケジュールの変更は認めるがあらかじめそういった事態を考慮しスケジュールを決めること。
  - ④ 結果報告について  
2部以下については1試合ごとに勝利校が学連 [gmail\(hstahstahsta@gmail.com\)](mailto:hstahstahsta@gmail.com) にメールで結果報告しなければならない。その際、学連ホームページの王座 Official Score Sheet を用いること。期限は各試合終了後最初の水曜日19時とする。なお、入れ替え戦選出校が各部最終戦終了から1週間後の19時の時点で結果報告義務を果たしていない場合、入れ替え戦は棄権負けとする。
  - ⑤ その他  
各部ごとに別れて審判、ボーラー、応援などについて話し合う。

## オーダーに関して

北海道学生テニスリーグに出場する大学は、以下に定めるオーダー規約に従いオーダー順位を決定しなければならない。

### 1. シングルス 以下の優先順位に従うものとする

- ① 本年度学生テニストーナメント大会優勝者
- ② 本年度学生テニストーナメント大会本選出場者（上位の順）
  - \* 尚、前年度インターハイ出場者は、学生テニストーナメント大会の32本と同等とみなす。
  - 同資格の場合 さらに以下の優先順位に従う。  
前年度学連ランキングのランク順

以上の項目該当者以外は、各校の良識ある判断に任せる。

### 2. ダブルス 以下の優先順位に従うものとする

- ① 本年度学生テニストーナメント大会優勝ペア
- ② 本年度学生テニストーナメント大会出場ペア（上位の順）
  - \* 尚、前年度インターハイ出場ペアは、学生テニストーナメント大会の男子は16本、女子は8本と同等とみなす。
  - ペア組み替えの場合 以下の規則によりランクを決定し比較する。
    - A. 本年度学生テニストーナメント大会本戦出場者同士の場合、2人のランクの平均を取る。（予選選手、出場していない選手は、男子は64、女子は32扱いとする）
    - \* この部分は複雑なので以下にすべてのパターンを掲載する。
      - ① WとFのペア
      - ② Wと4のペア、 FとFのペア
      - ③ Wと8のペア、 Fと4のペア
      - ④ Wと16のペア、 Fと8のペア、 4と4のペア
      - ⑤ Wと32のペア、 Fと16のペア、 4と8のペア
      - ⑥ Wと64のペア、 Fと32のペア、 4と16のペア、 8と8のペア
      - ⑦ Fと64のペア、 4と32のペア、 8と16のペア
      - ⑧ 4と64のペア、 8と32のペア、 16と16のペア
      - ⑨ 8と64のペア、 16と32のペア
      - ⑩ 16と64のペア、 32と32のペア
      - ⑪ 32と64のペア
      - ⑫ 64と64のペア

上記の優先順位に従う。（出場していない選手は予選選手と同等）

- 同資格の場合 さらに以下の優先順位に従う。
  - 1) 本年度学生テニストーナメント大会における実績を持ったペアと、組み替えにより同資格になったペアとでは前者を上位にする。
  - 2) 1)によっても決定しない場合は前年度学連ランキングの合計ポイント順に従う。

以上の項目該当者以外は、各校の良識ある判断に任せる。

## 注 意 事 項

### 1. 出場資格

当連盟において登録年度数及び在籍年度数4年以内ならば出場できる。  
ただし、医学部系大学に関しては登録年度数及び在籍年度数6年以内、短期大学は2年以内とする。  
尚、前年度登録した者が他大学から再登録した場合、1年間出場資格を有さない。上記の規約に基づいた場合で、他連盟より当連盟に移った場合、各地域連盟を通じて登録年度数及び在籍年度数4年以内ならば出場できる。

### 2. 試合形式

男子 3セットタイブレーク方式 ダブルス3本、シングルス6本  
女子 3セットタイブレーク方式 ダブルス2本、シングルス3本

### 3. 使用球

使用球は 　　　　　　　　　 とする。  
ボール・チェンジはファイナルボール・チェンジとし、試合中のパンク、ロストについては主審が判断して処置する。

### 4. 服装

北海道学生テニス連盟服装規定の通りとする。フード付きテニスウェア・ベンチコート不可。当連盟の服装規定に違反する選手・応援はコートに入ることができない。  
万が一服装に関する規定を犯した場合は1セットダウンとする。

#### 5. 試合順序

男子複第3位から順次第1位、その後男子単第6位から順次第1位とする。  
女子複第2位から順次第1位、その後女子単第3位から順次第1位とする。  
尚、試合の進行状況によってレフェリー、両校主将、主務の話し合いにより試合順序を変更することを認める。

### 6. 順位決定

勝点と同じ場合は総勝ポイント数の多いチームを上位とし、勝点も総勝ポイントも同じ場合には、総失セット数の少ないチームを上位とする。それでも順位が決定しない場合は、該当チームの該当試合の勝敗により決定する。

### 7. オーダー交換

ダブルスのオーダー交換を： に行い： には試合を開始することとする。（初日は オーダー交換）ダブルスの全試合が終了後、すぐにシングルのオーダー交換を行う。

また、シングルのオーダー交換の際に、オーダーの書き直しを行う場合はコートレフリーに伝え、理にかなった時間でシングルのオーダー交換の時間を遅らせることが可能である。また、シングルのオーダー交換終了後、ダブルスと同様 分後には試合を開始することとする。

また、出場する選手は必ずオーダー交換時にサービスライン上に整列することを義務とする。また、サブメンバーに関しては後列に整列するかは各大学に任せるものとする。ただし、整列しなかった者が当該試合時にコートに入ることを認めない。

注1：オーダー交換時に服装規定に反する整列は認めない。

注2：オーダー交換後の各大学のミーティングで試合開始時刻が遅れることは認めない。注3：オーダー交換時に整列することができるのは部長・監督・部員・マネージャーとする。オーダー用紙の交換時に必ず相手校提出用と学連提出用の2枚を用意する。両校主将挨拶時に、相手校用を相手校主将に、学連提出用をコート内にいる学連に提出する。ただしオーダー用紙は学連指定のものとする。（学連提出用を大会本部に提出することがないように）二部以下については学連提出用を用意する必要はない。試合後速やかにメールで結果を送ること。

#### 8. オーダー用紙について

- ① オーダー用紙はコピー可能。（同じサイズのみ）
- ② オーダー用紙の様式は、当連盟指定の用紙に毛筆またはペン書き（黒または青）とする。
- ③ 名前はフルネームで記入すること。また、必ず横に振り仮名も記入すること。
- ④ 日時など数字を記入する箇所は漢数字でも算用数字でも可能。
- ⑤ 式次第のときにオーダー用紙がない場合、その当該校にペナルティを科す（以下参照）。
- ⑥ 大学名は正式大学名称で記入すること。分からない場合は相手校に確認する。
- ⑦ オーダー用紙を封筒に入れる必要はないが入れても構わない。
- ⑧ 訂正箇所（修正液不可）には2重線を引き、部印がそれにかかるように押すことによって訂正を認める。

#### 9. オーダー順位

オーダー規約に基づいてダブルス・シングルスそれぞれのオーダー用紙に記入すること。順位の違いによるペナルティは「オーダー・オーダー用紙のミスのペナルティ」を参照すること。

オーダー・オーダー用紙のミスのペナルティ

オーダー順位は、オーダー規約に基づくものとする。

- ① オーダー規約にもとづかない順位で発表されたオーダーに関して
  - ・ その誤りのあった対戦を没収 ダブルスとシングルスどちらのオーダー交換時も共通
  - 例) 本来、A・B・Cの順で固定であったオーダーを誤ってA・C・Bの順で提出し、相手校に提訴された。
  - BとCの試合を没収、提出した大学側の2敗となる。
  - これらの処置は、相手校の主将・主務・質疑権所有者の提訴があった場合にコर्टレフェリーがとる。
  - 注1：オーダー規約の違反に対しての提訴は、複・単共にその試合終了までとする。注2：主将・主務・質疑権所有者以外からの提訴は、受け付けない。
  - 注3：オーダー規約を確認するための過去の資料の貸出は学連から行わない。
- ② 記入ミスについて
  - ・ 特に罰則はない
  - 例) 部印がない、氏名・大学名の漢字が間違っている場合など（違う大学名が書いている場合などは除く）

- ③ 試合開始のダブルスオーダー交換時に、学連提出用と相手校提出用のどちらかが無い、またはどちらのオーダー用紙も無いという場合。
- ・ダブルス全試合を没収
- ④ ダブルス終了後のシングルスオーダー交換時に、学連提出用と相手校提出用のどちらかが無い、またはどちらのオーダー用紙も無いという場合。
- ・シングルス全試合を没収

・棄権・リタイア

自然的体力の消耗（ケイレン等）による試合中断は一切認めない。

尚、偶発的事故による怪我のために試合が続行できなくなった場合は、該当選手につき1回だけ3分以内の治療時間を認める。ただし、治療はコートで行うものとし、コート内には医師などの出場資格の無い者は入れない（登録したベンチコーチはこの例ではない。）

・応援

応援とは試合を盛り上げ、自校のチームを勝利に導くものであり、相手校のチームをやじるものではない。応援方法は前もって主将間で協議すること。しかし、器具などを使い相手校・選手・審判の心理をかく乱させる行為及びプレーの妨げとなる行為をしてはいけない。学生スポーツ精神に反し、良識を欠くとみなされる場合には、学連役員が客観的に判断し処分する。尚、その行為が故意でないとしても同様である。

・応援のバイオレーションについて 警告→声なし→応援退去

・ベンチコーチ

ベンチコーチは1面1名とし、出場校の現役部員及びコーチとして登録しているものに限る。伝令は一切認めない。

尚、ベンチコーチのコートからの退出は、各コートのコートレフェリーの了承のもとで行い、コート外の行動はコートレフェリーの付き添いを必要とする。

仮に在籍年数が5年以上（医学部系で7年以上、短期大学で3年以上）で王座の出場資格の無い者でも、連盟加盟をしていて、加盟校が部員として認めていれば現役部員である。

ベンチコーチの登録は部長、監督を含め3名以内とし、大会本部にて本人によって登録するものとする。

・ウォーミングアップ

試合開始前のコートでのウォーミングアップは10分以内とする。ただし、雨天などで中断した場合を同一日中に再開する場合は、再開前5分以内のウォーミングアップを認める。日没などで中断した試合を日を改めて再開する場合は、再開前10分以内のウォーミングアップを認める。

・コートチェンジ

セット間コートチェンジは90秒。ゲーム間は60秒。ポイント間は20秒とする。主審に試合進行を促されても試合を再開しない場合は警告し、2回目以降は当該ポイントを失う。（主審は必ず時計によってそれをコールすること。）

・プレーヤー

学生スポーツマンシップに反し、コートマナー及び競技規則を遵守せず、学生精神の向上ならびに学生テニス界の発展・統一に支障を来たす選手は当該ポイントを失う、

または試合を没収する可能性があり、幹事会においても処罰の対象となる。

ボーラー

一部王座において、安全性を考慮し半面ボーラーとする。

・ 審判

審判は主将間の協議によって決定する。一般的に上位校が司会進行、奇数試合の主審をすることとする。また審判は服装に関する規定の対象外とする。

・ 質疑

試合についての質疑する権利は主将だけとし、その他いかなる抗議も一切認めない。試合場の質疑はJ T Aルールに基づき処置し、最終決定は学連役員が行う。

・ その他

その他のルールに関してはJ T Aルールに従うものとする。

ただし、主将会議が最終議決の場合なので、各部の主将全員と幹事長もしくは副幹事長が認めたときに限り、上記の規約を一部変更することができる。その場合、決定事項を文書として学連に提出しなければならない。

また、試合中に予想不可能な事態が起こった場合、両校主将間の話し合いで適当な決定を下すことができる。その決定が上記の決定に反する場合、学連役員の許可を求めなければならない。主将間の話し合いで解決しかねる時は、ただちに学連役員に判断を求める。